

2023年1月10日号

リスク対応とは(ISO)

---

1分でわかる！

会社を成長させるための

桑原事務所メルマガ通信 Vol.55

---

みなさま、おはようございます。

社会保険労務士法人桑原事務所の真鍋でございます。

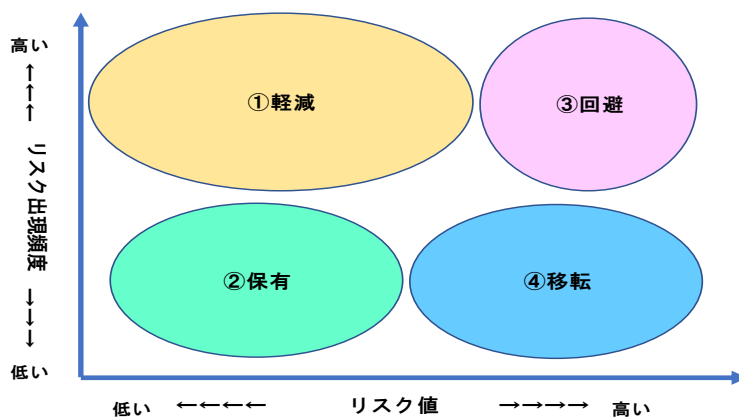
今回は「ISO27001のリスク対応」についてご紹介します。

リスクアセスメントから得た評価に基づき、最適な対応方法を定めて実施することを「リスク対応」といいます。

このリスク対応では以下の項目を検討します。（リスクとは例えば情報漏洩などを指します）

- ① リスクの軽減……影響度や発生可能性の軽減のための対策を行う
- ② リスクの保有……リスクが許容できる範囲内である場合、又はこれ以上リスク値を下げるできない場合にリスクを保有する
- ③ リスクの回避……リスクの発生する可能性がある環境から回避したり、保管するリスクを隔離又は廃棄するなど
- ④ リスクの移転……保有するリスクを外部に委託、情報漏洩保険への加入(委託先やサプライヤーにリスクを移転すること)

企業は上記①～④から最適な対応を選択することになりますが、これらはリスク評価から得られたリスク値の高低や出現頻度によって変わってきます。以下の図の考え方に基づいて、判断・選択していくと分かり易いと思います。



弊所の例をご紹介しますので、参考になればと思います。

「新型コロナの出現により、弊社でもテレワークの機会が増えた。」

↓

「テレワークを実施するにあたり、重要な書類等を持ち帰ることになり、家庭内での紛失による情報漏洩につながるリスクが新たに出現。」（ここがリスクアセスメントの段階）

↓

「リスク対応計画には“テレワークによる情報漏洩防止”を新たに追加。」

↓

「書類の持ち出し用に“書類持出記録簿”を作成し、これを他の社員が確認するルールを制定。」

↓

「テレワークから通常出勤した際にも、持ち出した書類の返却を他の社員に確認するルールを制定。」

以上が弊所の取り組みですが、これは上記の①リスクの軽減にあたります。

組織・社会にとって重大な変更、変化が生じた場合にすぐにリスクアセスメントを実施し、対応を検討する必要があります。弊社も今年の春に新社屋に移転する予定ですが、新しい環境になり、新たなリスクアセスメントの検証が必要となり、リスク対応を考えていかなければならない年となります。皆さまにおかれましても、リスクへの対応を上記の手順で行っていただくとトラブルを低減できると思いますので、ぜひ実践されてください。

ご不明点等ございましたら、お気軽に当事務所までご連絡ください。

よろしく申し上げます。

---

社会保険労務士法人桑原事務所

〒747-0801 山口県防府市駅南町 8-14

[TEL:0835-22-6706](tel:0835-22-6706)

FAX:0835-26-0023

MAIL: [info@kuwasr.net](mailto:info@kuwasr.net)

---